



# 平和の願い折鶴吹流し4本

## 表町商店街に舞う

### 日中太極拳・孤児訴訟の会・宇野9条の会

岡山空襲の6月29日をはさんで約1か月、表町と駅前商店街に百本ちかい折り鶴が舞っています。平和七夕まつりを始めて9年目です。

日中友好協会太極拳講習会にどうみなさんが中心になって、1本3千羽の吹き流しを、ことしは4本つくりました。太極拳以外の中国残留孤児訴訟支える県民の会の人や、宇野学区9条の会の人、それぞれ千羽をこす鶴をとどけてくださいました。アーケードに高く舞う戦争はいや！九条を守ろうのアピールを、ぜひごらんください。さんかくおかやま前です。


竹内

中日友好協会  
岡山支部  
〒700-4255  
岡山市東区3-8-30-514  
TEL(086)272-8010  
郵便振替口座  
01250-0-3835  
http://rizhong.jp/index.html

題字 菅原田 親  
No. 513  
2007/7/5

中日友好新聞  
発行所  
日本中国友好協会  
〒700-4255 岡山市東区3-8-30-514  
電話086-272-8010

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>  
メールアドレス  
[rizhong86@hotmail.co.jp](mailto:rizhong86@hotmail.co.jp)



# 日中岡山『9条の会』 日本国憲法 前文の中国語訳 その2

## 日本国憲法前文

そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであって、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理であり、この憲法は、かかる原理に基づくものである。われらは、これに反する一切の憲法、法令及び詔勅を排除する。

日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであって、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。

本来国政受到全国人民严肃的委托权威来自国民，国民代表行使其权力，国民应享受其福利。这是人类普遍的原理，日本国宪法根据如此的原理制定。

我们日本国民一切排除与上述原理相反的宪法-法令和「诏勅」。日本国民愿望持久和平，日本国民深深自知崇高理想，那儿的理想支配人间互相的关系。日本国民信赖各国人民热爱和平，而且本着公平信义。日本国民想决心保持我们的安全的生存。

## 中国帰国者日本語教室

### 親子健康まつりで

#### 手作りギョーザの販売



6月10日(日)コムコム会館と第2駐車場を会場に、どんぐりフェスタ実行委員会主催の第3回親子健康まつりが開催されました。まつりには約600人が参加し模擬店、健康チェック、迷路体験などがあり大人も子供も楽しいひと時を過ごしました。

愛子・小林夫妻が販売の手伝いをしました。水餃子は、出来立てのほやほやでおいしいと、昼までに600個を販売し100個あまりを参加者で昼食代わりに食べました。今回の取り組みは、3月5日から始まった医療生協平和環境委員会に所属する「だんごの会」と中国帰国者との交流の拡がりを示しています。

小林



## お知らせ

ボランティア

### 岡山市の保険に

入っています。

日中友好協会岡山支部は、平和と文化の具体的な活動を、安心して安全に行なえるように、市の社会福祉協議会のボランティア活動保険に加入しています。

加入には、ボランティア活動をしている個人の氏名を登録しておく必要があります。総会で承認された支部理事11人と中国語講師5人、日本語教室指導員13人、友好新聞「発送係りの計30人の方に保険をかけました。

それぞれの活動の場と、そこへの往復で交通事故など(加害・被害とも)で医療をうけたときは、領収書をそえて遠慮なく申し出て下さい。

6・25 竹内

### 盧溝橋事件70周年

#### 街頭宣伝活動

7月7日(土)

午前11時～12時

#### 表町・天満屋前

日中友好協会岡山支部  
中国残留孤児訴訟を支える会  
ご協力ください

次回の新聞発送作業は  
7月11日(水)午後1時半～  
民生会館2階で行います。

前回お手伝いくださった方です。

和製  
小林内服  
竹内服



# 「中国残留孤児」裁判判決に見る 歴史的認識 その5

## 「いわゆる先行行為」早期帰国義務違反

青木康嘉(岡山大安寺高校)

2007年3月29日

### 名古屋地裁判決

(渡辺裁判長)

名古屋地裁判決は、歴史的認識の点では簡潔に書かれており、淡泊な判決文といった印象である。

原告等が戦後中国に長期間残留することを余儀なくされた事態は、戦

時中の政府による大量の満州移民政策と、対ソの開戦が必至と目された情勢下での新作戦計画における開拓民保護政策の欠如という国策起因して創出されたと認められる。

したがって、戦後の国家機能を回復した被告には、原告等の意に沿わない国外残留の事態をできるだけ速やかに解消するために、具体的状況下において可能な限度で実効的な施

策を立案・実施すべきことが、条理に基づく法的な義務として課せられていくべきである。」といった感で、具体的な歴史的な事項の記述が見られない。

行政庁の相当広汎な裁量の存在を前提とせざるを得ない。中国側の協力が不可欠である。そうすると、政府が実際に講じた措置ないし特定の措置を講じなかった不作為が、当時の具体的状況の中で著しく不合理であつたといえるのでない限り、早期帰国義務実現義務に違反して、国家賠償法上違法となると評価することはできない。」

名古屋地裁判決は、日中国交回復後の自立支援が義務違反かどうかにかに力点が置かれた点に特徴がある。

東海訴訟とも言われ、これまで最大の原告団である百七十名に対して生活の困窮する孤児について、生活困難者と同様の基準をもって一律に生活保護制度を適用したことが不合理であつたとまでは評価できない。自立支援施策の不十分さが自立支援義務に違反する程度に達していたと評価するのは困難である」と、歴史的認識が偏っているわけではないが、現在の中国残留孤児や中国残留婦人が日本の生活での困難さや中国に住む養父母との関係悪化、お見舞い・訪問などといった辛い現状に對しての想像力をもたない冷血判決であつた。

おわり

エッセイ

## 中国浙江省寧波市周辺の旅 ⑤

### 杉元 邦太郎

#### 9. 寧波市最後の日 ① 郊外寺院見学

映画は自主上映の形で全国に広がっています。岡山でも10月20日(土)に2回上映する事が決まっています。

日中岡山も実行委員会に参加しました。これから宣伝が始まります。できるだけ多くの人に、特に若い人に観てほしいと思います。

日本国憲法は押し付けられた憲法ではなく、日本人の良心が作り出した憲法だということを、この映画から学んでほしいのです。

真田



上映会を成功させよう！  
多くの若者に見てほしい

6月27日(水)、天神山文化プラザホールで、映画『日本の青空』の試写会がありました。

日中岡山9条の会からも3名が参加しました。

NHKのドキュメントでも紹介された憲法学者鈴木安蔵を中心に、憲法研究会がつくった「憲法草案要綱」誕生にかかわる出来事を映画にしたものです。登場人物も、ハーバート・ノーマン、ベアテ・シロタ、高野岩三郎、白州次郎など一度は聞いたことのある人々です。

9月2日。長くて短かった感じのする寧波市の旅も最後になった。やはり中国は広い。寧波市とその周辺の一部しか見てない感じである。

またお兄さんは食品を中心に仲売りの業を経営しており、日本とも若干の取引があるという。そしてその縁でホテルも安くなったし、行く先々でその恩恵も被ってきた。今回も郊外をぐるぐる回ると、タクシメーターは800円を超えていたが、支払いはお兄さんがすることになっているというところで、好意に甘えることにした。まことに有り難いことである。さて昼食後、写真を撮影してからタクシーで出発である。

さらに案内の女性との話の中に出てきたのが「風水」のことで、この寺院は風水の配置にもなっているという。筆者は風水には詳しくはないが、わずかな知識で周囲を見てみるとなるほどと思う。そういう目で永平寺を考えてみると永平寺の位置も四囲の環境は風水の法則に則っているように見える。道元を説明している石碑と遺影が東回廊の一室に置かれている。日本からの仏教界との交流は盛んで、説明パンフレットにも多くの写真と説明が載っている。島根県益田市が寧波



天童禅寺入り口の天王殿

であるという。はじめは断つて歩き始めたが、真面目そうな40がらみの女性がついて来るので40円で案内してもらうことにした。

と姉妹都市交流をしていると聞いたが、これは雪舟との縁である。石造りの続きであるが、日本の木造との優劣を論ずる立場にはないが、石造・煉瓦はほとんど積み上げていくことができるし、隣接間の接続も容易である。それが中国の圧倒されるボリュームの景観をつくり出している。それに対して、日本の木造建築は大規模なものには適していない。その代わり精緻な彫刻や屋根根柢を作り出した。日本の塔は5層がせいぜいであるが、中国では10層12層などであるのもうなずける。天童寺も伽藍・回廊・石塔など全てが石造りで、何か寒々とした印象を受けてきた。付言しておく東の回廊で法要を行っている。写真を撮ろうとすると関係者からたしなめられた。

次に向かったのは阿育王寺である。ここは奈良時代の高僧・鑑真和尚の出身地で、パンフレットにも4回目の渡航でやっと日本にたどり着いたということが出てくる。天童寺に比べると平地に近く建てられている。本堂前の池などは、興福寺と猿沢の池を思い出させる。当日は旧盆のお祀りの準備の真っ最中で、信者が大勢集まって灯籠や飾り物を一生懸命作っていた。お寺参りはそこまでするまでにして、続いて北論区という港湾地区を見に行つた。

つづく



阿育王寺